

平成24年度概算要求主要事項

文 部 科 学 省
ス ポ ー ツ ・ 青 少 年 局

目 次

平成24年度概算要求主要事項	1
----------------	---

スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興

(1) 新たなスポーツ文化創造プロジェクトによる日本再生	3
(2) スポーツ基本法の着実な推進	13

豊かな心と健やかな体の育成

(1) 学校すこやかプランの充実	31
(2) 子ども安心プロジェクトの充実	33
(3) 食育推進プランの充実	35

青少年の健全育成の推進

○ 震災から学び世界に雄飛するたくましい青少年の育成 ～青少年の活力による日本再生～	36
(1) 青少年の意欲を高める体験活動の推進	41
(2) 青少年を有害環境から守るための取り組みの推進	44
(3) 子どもの読書活動の推進	46
(4) 青少年の健全育成に関する基礎的調査研究事業	48

平成24年度概算要求主要事項

事 項	前 年 度 算 額 千円	平成24年度 概算要求額 千円	比 較 増 減 額 千円	事 項
ス ポ ー ツ 立 国 の 実 現				
スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興	22,790,469	32,765,893	9,975,424	<p>1. 新たなスポーツ文化創造プロジェクトによる日本再生</p> <p>(1) ナショナル競技力向上プロジェクト【新規】 4,140,148 (0)</p> <p>(2) 障害者等スポーツ活動重点推進プロジェクト【新規】 1,300,165 (0)</p> <p>2. スポーツ基本法の着実な推進</p> <p>(1) スポーツ庁の在り方に関する調査研究事業【新規】 17,000 (0)</p> <p>～世界で競い合うトップアスリートの育成・強化等～</p> <p>(1) 国立霞ヶ丘競技場の改築に向けた調査費【新規】 100,000 (0)</p> <p>(2) 女性スポーツ・サポートの充実・強化のためのシステム整備【新規】 100,353 (0)</p> <p>(3) 日本オリンピック委員会補助 2,588,214 (2,588,214)</p> <p>(4) 国際競技大会情報ネットワーク形成支援事業 51,819 (10,098)</p> <p>(5) 戦略的アジアスポーツ情報・医・科学協力推進事業【新規】 100,046 (0)</p> <p>(6) 2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業【新規】 22,023 (0)</p> <p>(7) ドーピング防止活動の推進 357,360 (329,516)</p> <p>～ライフステージに応じたスポーツ機会の創造～</p> <p>(1) 社会体育施設緊急改修事業【新規】 2,953,000 (0)</p> <p>(2) 地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト 822,461 (570,993)</p> <p>(3) 競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業 155,247 (95,389)</p> <p>(4) スポーツキャリア活用のための調査研究【新規】 106,385 (0)</p> <p>(5) 大学・企業との連携による地域スポーツ推進事業【新規】 99,397 (0)</p> <p>(6) スポーツ科学研究推進事業【新規】 200,000 (0)</p> <p>(7) 地域コミュニティ再生のための学びの場づくり 1,569,329 (0)</p> <p>～学校における体育・運動部活動の充実～</p> <p>(1) 武道・ダンス指導推進事業【新規】 356,745 (0)</p> <p>(2) 中学校武道場の整備促進</p> <p>① 公立中学校武道場の整備 7,544,000 (4,534,000)</p> <p>② 私立中学校等武道場の整備 70,125 (70,125)</p> <p>(3) 運動部活動地域連携再構築事業【新規】 60,272 (0)</p>
合 計	22,790,469	32,765,893	9,975,424	

※ 事項は主要なもののみを計上しているため、合計と一致しない。

事 項	前 年 度 予 算 額 千円	平成24年度 概算要求額 千円	比 較 増 △ 減 額 千円	事 項	
豊かな心と健やかな体の育成					
1. 学校すこやかプランの充実	255,375	228,621	△ 26,754	(1) 学校保健課題解決支援事業【新規】	55,651 (0)
				(2) 小学校における保健教育の指導参考資料【新規】	26,549 (0)
2. 子ども安心プロジェクトの充実	96,550	7,972,849	7,876,299	(1) 学校安全推進事業	67,376 (39,850)
				(2) 防災教育推進事業【新規】	7,905,473 (0)
3. 食育推進プランの充実	280,937	281,651	714	学校給食・食育総合推進事業	281,651 (280,937)
合 計	632,862	8,483,121	7,850,259		

※ 事項は主要なもののみを計上しているため、合計と一致しない。

事 項	前 年 度 予 算 額 千円	平成24年度 概算要求額 千円	比 較 増 △ 減 額 千円	事 項	
青少年の健全育成の推進					
○ 震災から学び世界に雄飛する たくましい青少年の育成 ～青少年の活力による日本再生～	0	1,762,040	1,762,040	(1) 防災キャンプ推進事業【新規】	244,000 (0)
				(2) 青少年の元気と絆づくり支援事業【新規】 ～リフレッシュ・キャンプ～	1,268,040 (0)
				(3) 世界の子どもたちと体験活動等を通じて絆を強化し、世界に開かれた復興を目指す国際交流事業 ～ジョイン・イン・ジャンボリー【新規】	250,000 (0)
1. 青少年の意欲を高める体験活動の推進	247,174	219,367	△ 27,807	(1) 青少年の体験活動の推進	97,189 (108,492)
				(2) 青少年の国際交流の推進 ～Road to Japan～	122,178 (138,682)
2. 青少年を有害環境から守るための取り組みの推進	101,439	59,873	△ 41,566	青少年を取り巻く有害環境対策の推進	59,873 (101,439)
3. 子どもの読書活動の推進	43,500	39,150	△ 4,350	読書コミュニティ形成支援事業	39,150 (43,500)
4. 青少年の健全育成に関する基礎的調査研究事業	0	100,000	100,000	青少年の健全育成に関する基礎的調査研究事業【新規】	100,000 (0)
合 計	392,113	2,180,430	1,788,317		

※ 事項は主要なもののみを計上しているため、合計と一致しない。

スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興

(前年度予算額 22,790,469千円)
24年度概算要求額 32,765,893千円

【要求要旨】

すべての人々がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支え、そしてスポーツを育てる活動に参画する機会が確保される社会を実現し、広く人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、スポーツの持つ意義や価値を共有するという、我が国の「新たなスポーツ文化」を確立することを目指す。

【新たなスポーツ文化創造プロジェクトによる日本再生】

【要求内容】

(1) ナショナル競技力向上プロジェクト【新規】 4,140,148千円

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、競技者への支援や強化・育成システムを充実することで、我が国の国際競技力の向上を図る。

① マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト 2,817,193千円

メダル獲得が期待される17競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの戦略的サポートを実施する。

② メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業 1,322,955千円

有能なアスリートをメダルポテンシャルアスリート（メダル獲得の潜在力を有するアスリート）まで確実に引き上げるシステム（パフォーマンスパスウェイ）を構築するとともに、各強化段階にあるアスリートを次段階へと引き上げるための特別強化・育成事業を実施する。

(2) 障害者等スポーツ活動重点推進プロジェクト【新規】 1,300,165千円

全ての国民がスポーツに参加できるよう、特にスポーツ機会の拡充が期待されるスポーツ実施者（障害者・幼児・高齢者）について、それぞれの関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下でスポーツに取り組める体制を整備するための施策を重点的に推進する。

① 障害者の日常的なスポーツ活動に関する調査研究 208,570千円

障害者スポーツ団体及びスポーツ施設の設置・管理者からのヒアリングや国内外の実地調査により、障害者の日常的なスポーツ活動について実態を把握し、課題の的確な把握を行う。また課題分析や今後の推進方策について、有識者や関係団体により構成される委員会において検討する。

- ② **健常者と障害者のトップスポーツ融合拠点形成事業** **685,174千円**
教育研究機関として「人材育成」「教育研究」「診療」のための機能・資源などとともに、「スポーツ医・科学研究」「トップレベルアスリートの育成」などの実績や施設を有する大学に、健常者と障害者のトップスポーツを融合（ユニバーサル・トップスポーツ）させるための拠点を形成し、我が国のトップスポーツを一体的に支援するための基盤を築く。
- ③ **幼児期の運動促進に関する普及啓発事業** **180,436千円**
幼児期の運動促進を図るため、幼児期の運動指針を踏まえて、幼稚園等を対象とした地域の実情に応じた実践研究を行うとともに、理解促進を図るための幼稚園教諭や保護者等を対象とした実践研究協議会を開催する。
- ④ **高齢者の体力づくり支援事業** **225,985千円**
高齢者がそれぞれの適性や健康状態に応じて無理なく継続できる運動・スポーツプログラムの普及啓発等を行うとともに、運動習慣や健康状態の変化についてデータ収集を行う。

ナショナル競技力向上プロジェクト

24年度概算要求額 4,140,148千円(新規)

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、メダル獲得の潜在力を有するアスリートを育成するシステムを構築することで、我が国の国際競技力の向上を図る。

マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト

2,817,193千円

メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの戦略的サポートを実施する。

ターゲット競技

- 【夏季競技】14競技
陸上競技、水泳(競泳、シンクロ)、体操競技(体操、トランポリン)、レスリング、セーリング、自転車、フェンシング、柔道、カヌー、トライアスロン、卓球、射撃(ライフル射撃)
【冬季競技】2競技
スケート(スピード、フィギュア) [未指定1競技] 計17競技

アスリート支援

スポーツ医・科学、情報を活用して、ターゲット競技のトップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施



マルチサポート・ハウス

ロンドンオリンピック競技大会で、選手村村外に医・科学、情報面等から総合的にサポートするための拠点を設置

マルチサポート・ハウス ～情報戦略、医・科学サポートの村外拠点～	
分析 <input type="checkbox"/> 映像フィードバック <input type="checkbox"/> 映像編集 <input type="checkbox"/> 簡易動作分析 <input type="checkbox"/> 競技結果集積・分析	コンディショニング、リカバリー <input type="checkbox"/> 栄養補給 <input type="checkbox"/> メディカルスペース <input type="checkbox"/> リカバリープール <input type="checkbox"/> トレーニング、心理サポート
情報戦略 <input type="checkbox"/> 戦況分析・調査 <input type="checkbox"/> 日本選手団との連携・調整 <input type="checkbox"/> 現地と日本との連携・調整	コミュニケーション、機器保管 <input type="checkbox"/> 選手・コーチ・スタッフのミーティング <input type="checkbox"/> 競技機材の保管 <input type="checkbox"/> サポート機器の保管

研究開発

日本の科学技術を活かして、最先端の競技用具やトレーニング器具、コンディショニング、リカバリー方法の研究開発等を実施

女性アスリート戦略的サポート

女性アスリートの戦略的強化方策レポートを作成するとともに、出産、妊娠、育児など女性特有の課題を抱えるアスリートをサポート

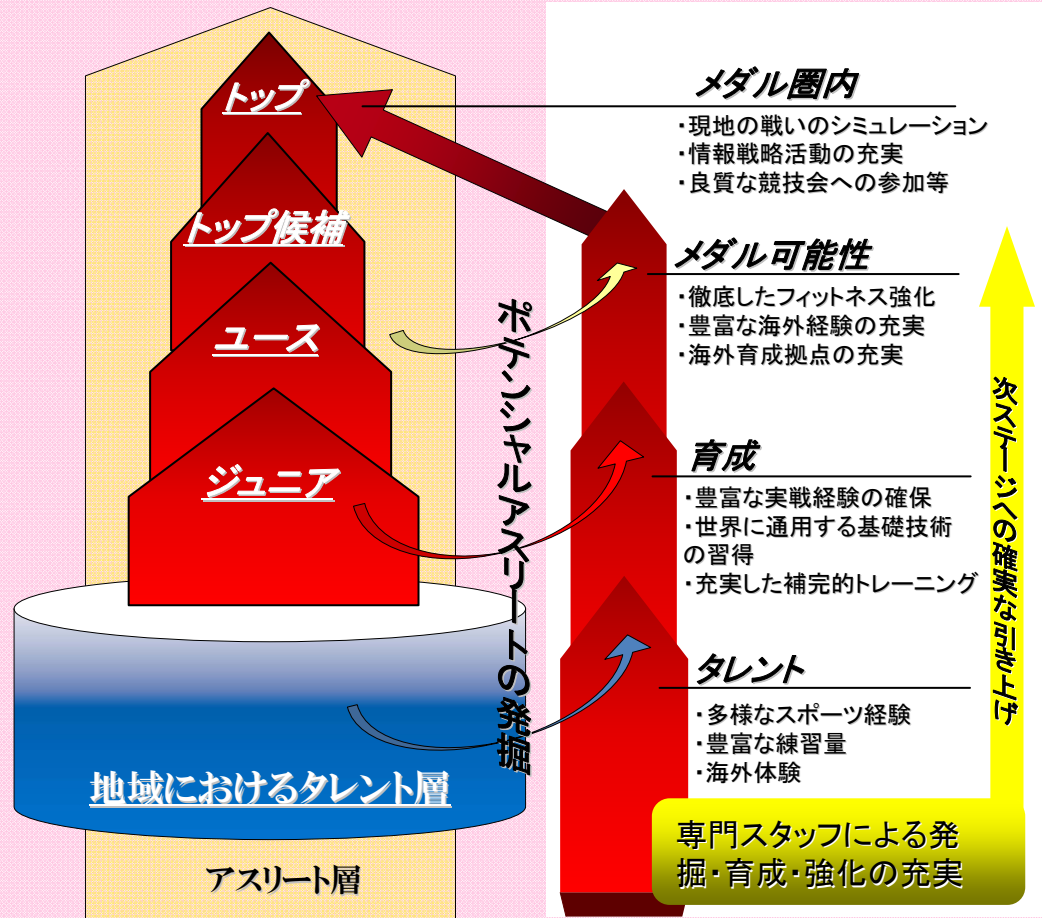
メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業

1,322,955千円

有能なアスリートをメダルポテンシャルアスリート(メダル獲得の潜在力を有するアスリート)まで確実に引き上げるシステム(パフォーマンスパスウェイ)を構築するとともに、各強化段階にあるアスリートを次段階へと引き上げるための特別強化・育成事業を実施する。

現行の選手強化基盤

パフォーマンスパスウェイ



マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト

(新規)
24年度概算要求額 2,817,193千円

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施する。

また、女性アスリートへの戦略的サポートを実施するとともに、競技者パフォーマンスの最大化に焦点を当て、ロンドンオリンピック競技大会での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。

ターゲット競技

- 【夏季競技】 14競技：陸上競技、水泳(競泳、シンクロ)、体操競技(体操、トランポリン)、レスリング、セーリング、自転車、フェンシング、柔道、カヌー、トライアスロン、卓球、射撃(ライフル射撃)
【冬季競技】 2競技：スケート(スピード、フィギュア) [未指定1競技] 計17競技

アスリート支援

強化合宿や競技大会における動作分析、ゲーム分析、情報収集、栄養サポート、コンディショニングサポート、心理サポートなど、スポーツ医・科学、情報を活用して、ターゲット競技のトップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施



研究開発

日本の科学技術を活かして、オリンピック選手専用(テーラーメイド型)の競技用具やウェア、シューズ、日本人の弱点を強化するための専用トレーニング器具、コンディショニング、リカバリー方法の研究開発等を実施

マルチサポート・ハウス

競技者パフォーマンスの最大化に焦点を当て、ロンドンオリンピック競技大会での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための拠点を設置

マルチサポート・ハウス ～情報戦略、医・科学サポートの村外拠点～

分析

- 映像フィードバック
- 映像編集
- 簡易動作分析
- 競技結果集積・分析

コンディショニング、リカバリー

- 栄養補給
- メディカルスペース
- リカバリープール
- トレーニング、心理サポート

情報戦略

- 戦況分析・調査
- 日本選手団との連携・調整
- 現地と日本との連携・調整

コミュニケーション、機器保管

- 選手・コーチ・スタッフのミーティング
- 競技機材の保管
- サポート機器の保管

女性アスリート戦略的サポート

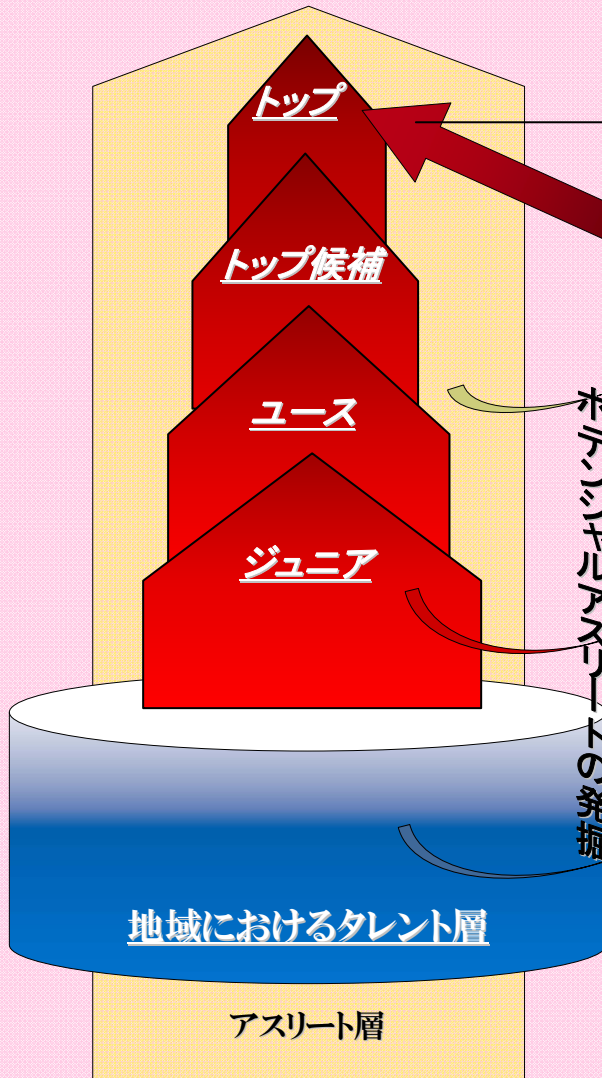
諸外国に散在している女性スポーツに関する情報のデータベース化や女性アスリートのトランジション研究などを通じて、女性アスリートの戦略的強化方策レポートを作成するとともに、出産、妊娠、育児など女性特有の課題を抱えるアスリートをサポート

メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業

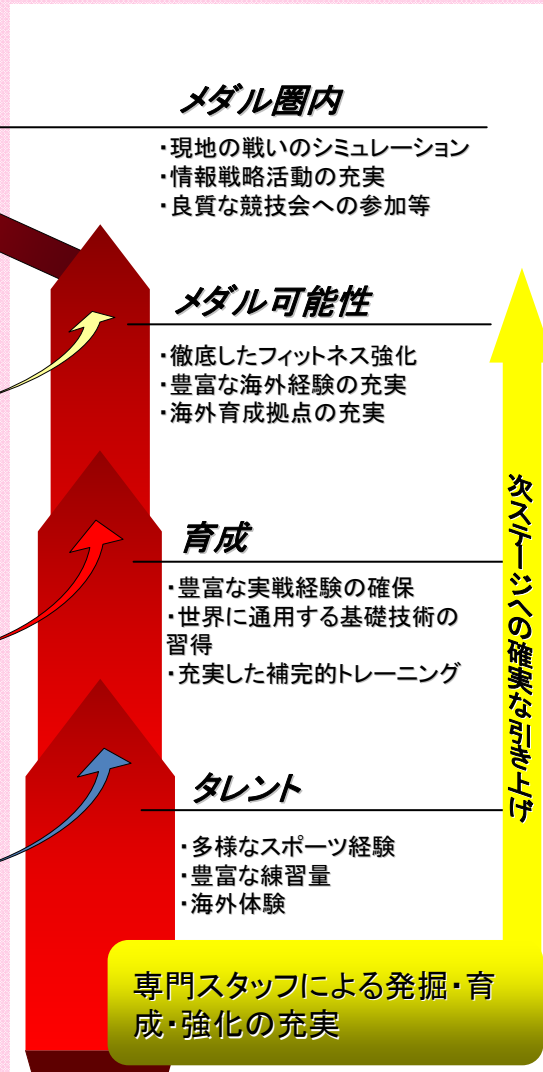
24年度概算要求額 1,322,955千円(新規)

有能なアスリートをメダルポテンシャルアスリート(メダル獲得の潜在力を有するアスリート)まで確実に引き上げるシステム(パフォーマンスパスウェイ)を構築するとともに、各強化段階にあるアスリートを次段階へと引き上げるための特別強化・育成事業を実施する。

現行の選手強化基盤



パフォーマンスパスウェイ



オリンピックでのメダル獲得数

メダルポテンシャルアスリート数 × メダル獲得成功率

ポテンシャルアスリートの安定確保

パフォーマンスパスウェイの確実な引上げ

明確かつ強固なパフォーマンスパスウェイの構築

- ① 地域タレントアスリートのパスウェイへの移行
- ② 現パスウェイステージから次ステージへの確実な移行
- ③ パスウェイ離脱アスリートのパスウェイ還流

メダルポテンシャルアスリートのパスウェイを強固にする特別な取組みが必要

各専門分野の立場から、強化育成プログラムの評価・調査、各競技団体へのアドバイス、コンサルテーション

ポテンシャルアスリート情報の収集

パスウェイ還流・移行のための特別強化・育成

障害者等スポーツ活動重点推進プロジェクト

24年度概算要求額 1,300,165千円

特にスポーツ機会の拡充が期待される3つの要素を重点的に推進



種類・程度に応じた障害者スポーツの支援

893,744千円

- 地域スポーツ分野における支援策の検討
→「障害者の日常的なスポーツ活動に関する調査研究」
- 大学を活用したユニバーサル・トップスポーツの拠点形成
→「健常者と障害者のトップスポーツ融合拠点形成事業」



幼児期の運動促進

180,436千円

幼児期の運動指針を踏まえた実践研究
→「幼児期の運動促進に関する普及啓発事業」



高齢者の体力づくり

225,985千円

高齢者に適した運動プログラムの普及啓発
→「高齢者の体力づくり支援事業」



全ての国民のスポーツ機会の拡充

障害者の日常的なスポーツ活動に関する調査研究

スポーツ基本法における障害者スポーツに関する基本理念

24年度概算要求額 208,570千円(新規)

スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。

調査研究の目的

障害者スポーツ関連データの不足が課題に...



障害の種類及び程度に応じた障害者の日常的なスポーツ活動に関する国内外の実態把握を行い、地域における障害者スポーツの振興方策や目標設定等に活用。

①民間団体による実態調査の実施

障害の種類及び程度に応じた障害者の日常的なスポーツ活動について実態把握を行うために必要な項目について、障害者スポーツ団体及びスポーツ施設の設置管理者からのヒアリングや実地調査を実施。あわせて海外の先進的な取組事例の収集を行う。

【ソフト面】

- ・障害の種類に応じた日常的なスポーツ活動の内容や頻度
- ・健常者と一緒になって実施されているスポーツ活動の実態
- ・福祉施設におけるスポーツ活動の実態(リハビリとの関係)
- ...etc

【ハード面】

- ・障害者の地域のスポーツ施設・学校施設の利用実態
- ・地域スポーツ施設のバリアフリー化状況
- ・障害者の安全なスポーツ活動に必要な用具の状況と費用負担
- ...etc

②有識者等による検討委員会の開催

実態調査を踏まえた課題分析、地域における障害者スポーツの振興方策や目標の設定等について、有識者や関係団体等で構成する委員会を設けて検討。



健全者と障害者のトップスポーツ融合拠点形成事業 －ユニバーサル・トップスポーツ拠点形成事業－

(新規)

24年度概算要求額:685,174千円

【背景】

- ・健全者と障害者のトップスポーツの一体的支援及びその充実が必要。
- ・健全者トップスポーツで競技力の向上を目的として開発、蓄積してきた知識・技術、経験だけでは、障害者トップスポーツの十分な競技力向上及びサポートが望めない。

【目的】

- ・健全者と障害者のトップスポーツの融合を図るとともに、「好循環」を生み出し、それぞれの国際競技力の向上を目指す。

【概要】

文部科学省と厚生労働省が連携協力して、我が国のトップスポーツを一体的に支援するための基盤を築く。

- ・ナショナルセンター：JISS・NTCとNRCDの連携・協働を進め、その機能充実を図る。
- ・リージョナルセンター：「人材育成」「教育研究」「診療」の機能とともに、「スポーツ医・科学研究」「トップレベルアスリートの育成」「スポーツ施設」などの実績や施設を有する大学に新たな拠点を形成する。

リージョナルセンター

○委託先

- ・大学単独又は大学コンソーシアム
- ・大学を中核とするコンソーシアム

○委託期間

- ・3～5年間（3年目に中間評価）

○事業規模

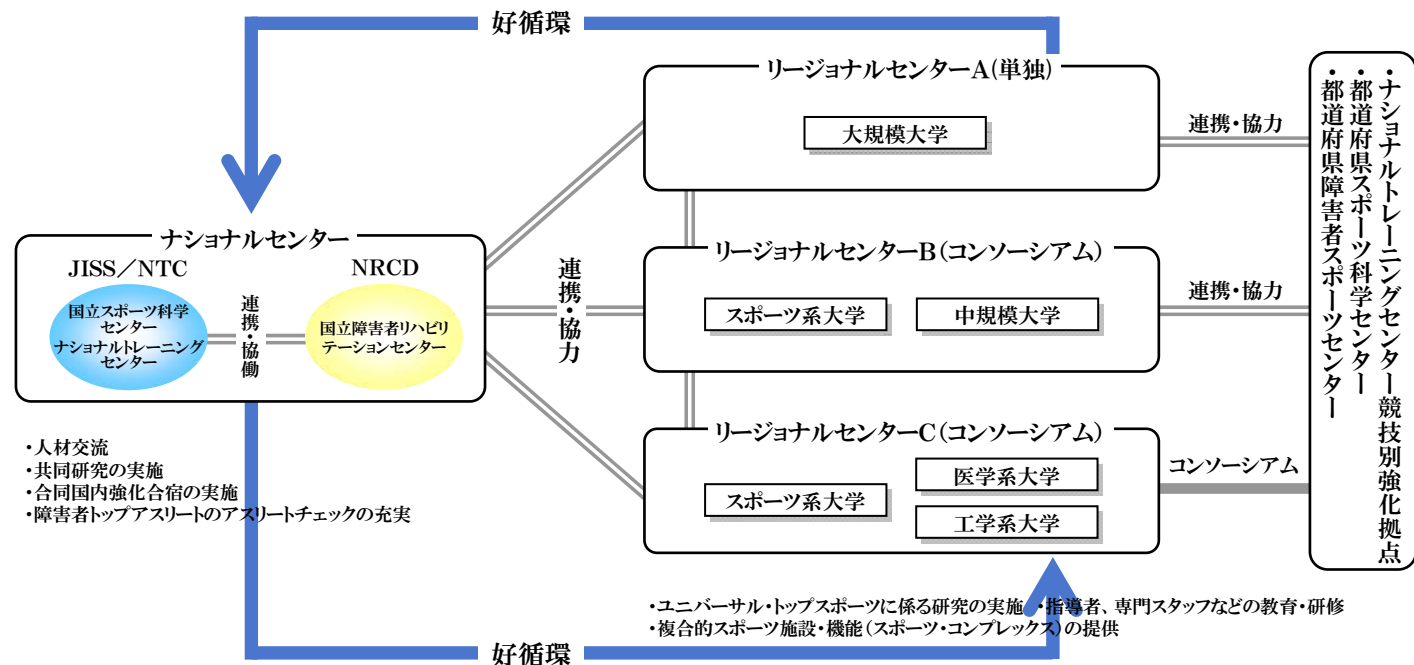
- ・7拠点

○事業種類

- ・委託事業（請負事業）

○支援経費（事業費、研究開発費など）

- ・人件費
 - ・設備備品費
 - ・消耗品費
 - ・旅費交通費
- ほか



幼児期の運動促進に関する普及啓発事業

24年度概算要求額 180,436千円【新規】

【現状】

子どもの現状として、「転んだ時にとっさに手がつかない」などの身体を操作する能力の低下、運動意欲の低下及び体を動かす機会の減少が指摘。

幼児期に習得しておくことが望ましい基本的な動作などを示した「幼児期の運動指針」を作成(平成23年度)

幼児期の運動促進（機会と場と環境づくり）

【実践研究】（47地域）

（目的）

地域の実情に応じた幼稚園等を対象とした運動促進方策の実践研究

（内容）

「幼児期の運動指針」を踏まえ、日常の活動の中で取り入れられる効果的な活動パターン等を含んだプログラムを開発するための実践研究を行う。



【実践研究協議会】（2か所）

（目的）

実践研究の成果等の普及及び教諭や保護者等の関係者の理解促進を図る。

（内容）

- ・実践研究の成果報告
- ・パネルディスカッション 等



高齢者の体力づくり支援事業

(新規)
24年度概算要求額 225,985千円

